［広報］ 鮫川村広報紙

さめがわ

4
2011 No. 684
平成23年４月１日発行



■**特集**
平成23年度当初予算

■**ピックアップ・緑のふるさと協力隊活動報告**
鮫川村で出会ったモノ

■**ほっとニュース**
鮫川中学校で卒業証書授与式
学校給食センターが東北農政局長賞を受賞　ほか

［表紙写真］
笑顔で卒業／鮫川中学校卒業証書授与式、16ページに関連記事（３月11日）





平成23年３月11日午後２時46分ごろ、宮城県三陸沖を震源とした大きな地震が発生しました。地震の強さを示すマグニチュードは9.0で震源の深さは24キロ。
村でも震度５弱を観測。すぐさま災害対策本部が設置され、村内の被害状況の調査が行われました。幸い、人的被害はありませんでしたが、屋根の瓦が落ちたり、家屋の一部倒壊、道路に亀裂が見られるなど多くの被害がありました。

●住宅などの被害…49件
●公共施設などの被害…26件
●道路・河川に関する被害…34件

3.11 東北地方太平洋沖地震

東北関東大震災発生

応援メッセージ

福島県鮫川村長
　大樂　勝弘　様

東京農業大学
学長　大澤　貫寿

東北・関東大震災のお見舞い

前略

　このたびは未曾有の大地震に見舞われ、その災害復旧に全力を上げて取り組んでおられることと思います。
　この度の大地震は、人間の予測能力をはるかに上回る、また予期することができない自然の猛威であり、改めて人間の無力さを痛感いたしました。新入生、在校生など本学の学生の中にも本人を含め実家や親類縁者が被害を受けた者がたくさんおります。
　さて、鮫川村の住民の皆様方の被害の方はいかがでしたでしょうか。想像を絶する地震と津波の被害のすさまじさ、さらには福島原発からの放射能被害の報道を目の当たりにするにつれ、鮫川村の緑豊かな山々と農業、そして心優しく温かい住民の皆様への影響が懸念されます。東京農業大学にできることがあれば、出来る限りのご支援をさせていただきますので、何なりとお申し付けください。
　地震と放射能汚染への対応と農林水産業への被害軽減に向けまして忙しい毎日が続くと思いますが、くれぐれもご健康に留意され、一日も早く平常生活に復帰されることを祈念いたしております。
　大樂村長様ならびに鮫川村村民の皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。

敬具

東北関東大震災義援金（敬称略）

氏　　名	金 額
矢吹　三郎（中沢）	50万円
大樂　憲子（大塩）	20万円
鮫川村建設協力会（森正紀会長）	10万円
青戸　ケイ子（彦次郎）	5万円
藤田　隆千代（道少田）	5万円
圓谷　實（鬼越）	5万円
蛭田　吉郎（田野上）	2万円
関根　サチ子（戸倉）	1万円
菊地　清榮（彦次郎）	5千円

上記の方々からお預かりした義援金は、日本赤十字社に送金しています。

●村に見舞金をいただいた方
東京都北区…5万円

●山王の里へ救援物資
米や野菜、トイレットペーパーなどの生活雑貨品を提供…29人

●毛布の提供
避難生活を送っている方に毛布提供のご協力…124人　719枚

みなさんのご協力に感謝申し上げます。



【給油所】
地震の影響により、不足しているガソリンを求め行列。



【避難所開設】
山王の里に避難所を開設。赤十字奉仕団などが、避難者皆様へのお世話をしてくださいました。





【災害対策本部設置】
役場の各課長が統監（村長）に村内の被害状況を報告。その対策について話し合いが行われました。







【物資支援】
毛布や飲料水、おにぎりなどが村外の避難所に送られました。



最大の効果を…
づくり

全会計総額41億8837万円

主な事業は、通学定期券補助事業や在宅高齢者お助け事業、アンテナショップ開設事業、幼稚園の入園料・授業料無料化などの新規事業のほか、携帯電話の鉄塔建設事業（前折戸）、堆肥センター整備事業、広畑団地建替え事業などみなさんの生活に密着した予算となりました。

今月は、平成23年度当初予算の概要をお知らせします。

（事業の詳細は４・５ｐに掲載）

■会計別予算の状況

会計別		予算額	対前年比	伸び率(%)
一般会計		28億7,800万円	3,800万円	1.3
特別会計		13億1,037万円	3,919万円	3.1
国民健康保険	事業勘定	4億9,570万円	2,370万円	5.0
	直診勘定	8,090万円	△710万円	△8.1
老人保健		廃止	△15万円	−
簡易水道事業		1億1,605万円	3,433万円	42.0
村営バス事業		755万円	△54万円	△6.7
集落排水事業		3,145万円	104万円	3.4
介護保険		3億9,425万円	△1,376万円	△3.4
交流施設		1,474万円	△85万円	△5.4
学校給食センター		1億3,527万円	175万円	1.3
後期高齢者医療		3,446万円	77万円	2.3
予算総額		41億8,837万円	7,719万円	1.9

■歳入予算の状況（一般会計）

区分		予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
自主財源		4億6,335万円	16.1	244万円	0.5
	村税	2億4,375万円	8.5	△972万円	△3.8
	繰入金	1億2,671万円	4.4	413万円	3.4
	使用料及び手数料	3,483万円	1.2	△78万円	△2.2
	諸収入	2,824万円	1.0	822万円	41.0
	その他①	2,982万円	1.0	59万円	2.0
依存財源		24億1,465万円	83.9	3,556万円	1.5
	地方交付税	14億4,186万円	50.1	4,432万円	3.2
	県支出金	3億7,409万円	13.0	△5,640万円	△13.1
	村債	3億2,350万円	11.2	1,000万円	3.2
	国庫支出金	1億9,437万円	6.8	3,972万円	25.7
	その他②	8,083万円	2.8	△208万円	△2.5
計		28億7,800万円	100.0	3,800万円	1.3

※その他①＝分担金及び負担金、財産収入、寄附金、繰越金／その他②＝地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策交付金

【用語解説】

■自主財源…村税（村県民税や固定資産税など村の税金）や使用料（保育料や住宅使用料など）、財産収入、寄附金など村が自分の手で確保できるお金。

■依存財源…地方交付税や国庫支出金、県支出金、地方債など国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられるお金。

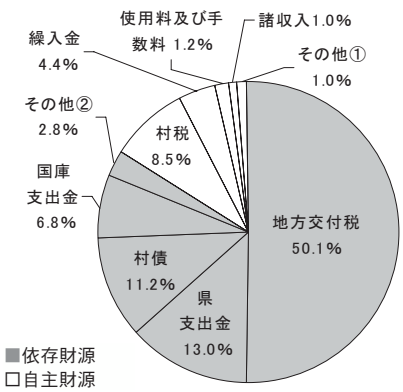
■地方交付税…すべての自治体が一定水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金。普通交付税と特別交付税の２つからなる。

■繰入金…各種基金から繰り入れるお金。

■村債（地方債）…道路改良や住宅建設、水道整備などのさまざまな事業を行うために長期間借り入れるお金。

歳入

一般会計



一般会計 歳入

地方交付税が全体の５割を超える

一般会計の歳入（収入）で最も多いのは、地方交付税の14億４１８６万円（前年度より４４３２万円の増）で、歳入全体の50・１％を占めています。依存財源のうち前年度より大きく伸びたのが、国庫支出金（国からの補助金など）の１億９４３７万円で、25・７％の増となりました。これは、道路改良や住宅整備を行うための交付金が増加したことによるものです。

一方、自主財源の全体では、前年度と同水準（０・５％増）の４億６３３５万円となりましたが、自主財源の多くを占める村税は、前年度に比べ９７２万円減の２億４３７５万円となりました。これは、景気の低迷などによる個人所得の減少に伴い個人村民税が減ったためです。また、諸収入が41・０％増加したのは、光ファイバー網の整備に伴い、サービス提供事業者からの貸付料収入が新たに発生するためです。

一般会計 歳出

民生費が８・７％伸び目的別のトップに

歳出（支出）を、目的別で見ると、民生費が５億８６９７万円と最も



最小の経費で むら

平成23年度当初予算

平成23年度の村づくりがスタートしました。村では、依然として厳しい財政状況が続く中、創意と工夫により少ない財源を効率的に活用し、第３次鮫川村振興計画の目標を実現するため、さまざまな事業に取り組んでいきます。

今年度は一般会計が平成22年度より1.3%増の28億7800万円、特別会計が3.1%増の13億1037万円、総額41億8837万円となりました。

■性質別歳出予算の状況（一般会計）

区　分	予　算　額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
人　件　費	6億5,542万円	22.8	2,628万円	4.2
普通建設事業費	5億2,181万円	18.1	△470万円	△0.9
物　件　費	4億1,961万円	14.6	3,372万円	8.7
補　助　費　等	3億8,966万円	13.5	△1,544万円	△3.8
公　債　費	3億5,018万円	12.2	△2,727万円	△7.2
繰　出　金	3億1,437万円	10.9	571万円	1.9
扶　助　費	1億9,179万円	6.7	624万円	3.4
維　持　補　修　費	2,119万円	0.7	1,418万円	202.1
そ　の　他	1,397万円	0.5	△72万円	△4.9
計	28億7,800万円	100.0	3,800万円	1.3

※その他＝災害復旧費、積立金、貸付金、予備費

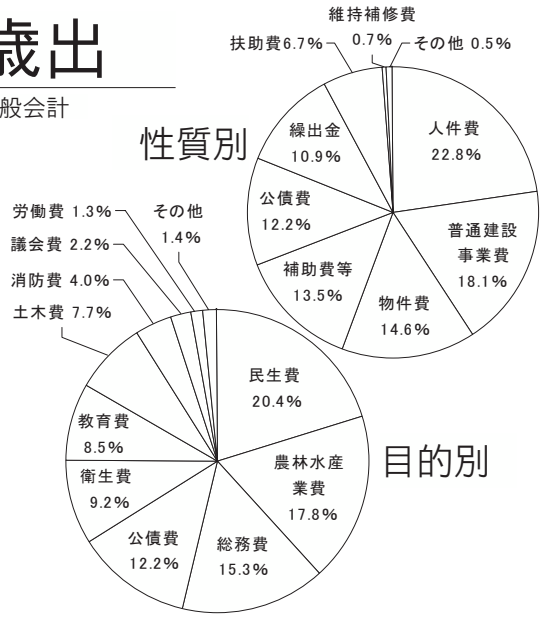
■目的別歳出予算の状況（一般会計）

区　分	予　算　額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
民　生　費	5億8,697万円	20.4	4,684万円	8.7
農林水産業費	5億1,123万円	17.8	△3,240万円	△6.0
総　務　費	4億3,934万円	15.3	2,137万円	5.1
公　債　費	3億5,019万円	12.2	△2,727万円	△7.2
衛　生　費	2億6,613万円	9.2	342万円	1.3
教　育　費	2億4,465万円	8.5	1,390万円	6.0
土　木　費	2億2,222万円	7.7	2,776万円	14.3
消　防　費	1億1,489万円	4.0	△743万円	△6.1
議　会　費	6,363万円	2.2	1,672万円	35.6
労　働　費	3,776万円	1.3	△139万円	△3.6
そ　の　他	4,099万円	1.4	△2,352万円	△36.5
計	28億7,800万円	100.0	3,800万円	1.3

※その他＝商工費、災害復旧費、予備費

歳出

一般会計



【用語解説】

■人件費…職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使われるお金。

■普通建設事業費…道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使われるお金。

■補助費等…各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使われるお金。

■物件費…委託料や消耗品、備品の購入などに使われるお金。

■公債費…村債の元利償還金。

■繰出金…一般会計から特別会計へ繰り出すお金。

■扶助費…高齢者や障害者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使われるお金。

■維持補修費…道路や公共施設などの補修に使われるお金。

多く、農林水産業費、総務費と続きます。民生費が伸びたのは、在宅高齢者お助け事業(新規)や子ども手当、保育園やこどもセンターの運営にかかる費用などが増えたことによります。

次に性質別では、人件費、普通建設事業費、物件費と続き、性質別歳出の中で大幅に伸びたのが維持補修費となりました。(前年比202・1%増)これは、新規事業として村民運動場のトイレ設置やバックネットの補修、富田村民体育館の屋根塗装などを行うためです。

特別会計

老人特別会計を廃止 全8会計で3・1%増

特別会計とは、特定の事業を特定の収入で行うため、一般会計から独立して設けられた会計ですが、平成23年度は、老人保健特別会計が廃止され、8つの会計を運営します。

全体の総額は13億1037万円で、前年に比べ3919万円(3・1%)の増額となりました。このうち、簡易水道事業特別会計が3433万円(42・0%)増加したのは、新規事業で落合地区給水施設整備工事を実施することによるものです。

Vision2　＜農村の環境ビジョン＞

農村の景観の維持と活用を「まめ」な暮らしで

自然や動植物と共存し、農村環境を創る村の実現

①道路網・道路環境の整備

●農道整備事業（大久保農道、東野中部農免農道）　680万円
●県単林道整備事業（林道上大塩見渡線改良）　637万円
●県単治山施設整備事業（二反田地内）　426万円
●ふるさと林道緊急整備事業（酒垂宝木線）　1,351万円
●路網整備事業（基幹的作業道開設・草木地内）　926万円
●村道維持管理事業（除雪作業、日陰林伐採など）　1,307万円
●村道新設改良事業（遠ヶ竜戸草線改良事業、内ヶ竜滝ノ下線舗装工事【新規】）　5,970万円

②公園・緑地の整備

●舘山公園整備事業（管理作業）　109万円

③水環境・環境の保全と再生

●美しい村づくり事業（不法投棄物回収業務委託）【新規】　227万円
●簡易水道運営事業（簡易水道特別会計繰出金・鍬木田水源地周辺国有林購入）　5,470万円

④水を大切にし、環境に配慮した排水の処理

●浄化槽設置整備事業（合併処理浄化槽15基設置など）　711万円
●集落排水運営事業（集落排水事業特別会計繰出金）　2,227万円

⑤その他

●東白衛生組合・東白斎苑負担金　7,204万円

第３次鮫川村振興計画

【まめな暮らしを生かした村づくり】

H23予算

第３次鮫川村振興計画に基づく各分野のお金の使いみちをお知らせします。

Vision1　＜農村の再生ビジョン＞

地域資源の活用を「まめ」に

独自の優れた資源を発見し、みんなで知恵を出し、心豊かに暮らし続けられる村の実現

①環境と健康を食べる

●有機の里づくり事業（有機農業指導業務委託、野菜冬季出荷振興事業、水稲・大豆・野菜等栽培研究【新規】）　195万円
●加工・直売所運営事業（施設管理業務委託など）　848万円
●大豆振興対策事業（大豆生産奨励補助金など）　1,247万円
●まめで達者な村づくりプロジェクト（アイディア料理コンテスト、郷土料理を楽しむ会開催）　60万円

②農村の景観と文化を生かす

●中山間地域等直接支払制度事業　1億723万円
●中山間地域直接支払交付金として　1億2,276万円
●交流施設運営事業（交流施設特別会計繰出金）　510万円
●グリーン・ツーリズム推進事業　75万円
●緑のふるさと協力隊誘致事業　225万円
●東京農大連携事業　53万円
●森林環境税交付金事業（小・中学校森林環境学習支援、薪ストーブ整備など）　292万円

総　務　費

105,865円
（対前年度6,513円増）
選挙、戸籍、徴税、広報紙発行などのためのお金

農林水産業費

123,188円
（対前年度6,034円減）
農林業の振興や農林道の整備などのためのお金

民　生　費

141,439円
（対前年度13,050円増）
高齢者や子ども、障害者などの福祉のためのお金

村民１人あたりの予算
693,493円
（対前年度18,428円増）
村の平成23年度一般会計当初予算の総額を平成23年３月１日現在の人口4,150人で計算したもの。
（目的別の金額は次のとおり）

土　木　費

53,547円
（対前年度7,323円増）
道路や橋、住宅を整備・維持するためのお金

教　育　費

58,952円
（対前年度4,105円増）
学校教育や生涯学習、体育振興などのためのお金

衛　生　費

64,128円
（対前年度1,681円増）
保健事業や予防接種、環境衛生などのためのお金

公　債　費

84,383円
（対前年度5,337円減）
地方債（村の借入金）を返済するためのお金

そ　の　他

9,877円
（対前年度5,456円減）
商工業の振興、災害復旧などのためのお金

労　働　費

9,099円
（対前年度206円減）
雇用創出、勤労者の福利厚生などのためのお金

議　会　費

15,333円
（対前年度4,182円増）
村議会運営のためのお金

消　防　費

27,684円
（対前年度1,389円減）
消防施設の整備や消防活動のためのお金

Vision4 ＜農村の人づくりと産業ビジョン＞

人づくりと地域産業の育成を「まめ」に

地域から世界を見ることができる人材を育成し、
消費者と生産者の密接な関係を構築する村の実現

①学校教育の充実

- ●基礎学力向上支援事業(学習支援員配置など) 792万円
- ●スクールバス運行事業(５路線委託など) 773万円
- ●学法石川高支援事業(校舎耐震補強改修工事助成金)【新規】 125万円
- ●学校給食事業(学校給食センター特別会計繰出金など) 3,400万円
- ●小・中学校教育活動支援事業(事務機器借料など) 444万円
- ●小・中学校教育振興事業(スクールバス運行など) 644万円
- ●小学校施設補修事業(青生野小グランドトイレ設置など) 304万円

②生涯学習の充実

- ●学校支援地域連携事業【新規】 71万円
- ●公民館事業(公民館改修工事、各種事業など) 868万円
- ●歴史民俗資料館管理事業(外壁補修工事など) 511万円
- ●体育施設管理事業(村民運動場トイレ設置・バックネット補修工事【新規】、富田村民体育館屋根塗装工事など) 1,100万円

③安心安全、顔の見える農業の振興

- ●畜産振興事業(畜産ヘルパー推進事業など) 287万円
- ●バイオマスヴィレッジ事業(豊かな土づくりセンター建築工事、備品購入費など) 1億8,011万円
- ●水田農業作付条件整備事業(暗渠排水補助、東前田地区農業用水路整備工事) 420万円

④ふるさとの森を守り育てる

- ●松くい虫防除対策事業(被害木調査・伐倒駆除) 393万円
- ●森林整備地域支援交付金事業(森林経営計画策定補助金【新規】など) 297万円

⑤商工業の振興、雇用機会の確保

- ●緊急雇用基金創出基金事業(観光施設等景観保全事業、アンテナショップ開設事業【新規】) 1,470万円
- ●ふるさと雇用再生特別基金事業(加工食品開発・販売推進事業、読書活動・ＩＣＴ普及事業など) 2,294万円
- ●商工会支援事業(商工会への補助金) 380万円

⑥村の特徴を活かした観光

- ●観光振興事業(うまいもの祭り補助金、花火大会協賛、ふるさとの四季カレンダー作成など) 269万円
- ●鹿角平観光牧場管理事業(管理業務委託、観光牧場施設修繕、法面補修工事など) 396万円

⑦その他

- ●議会活動費(議会だより、議員年金給付費負担金) 2,106万円
- ●福島県議会議員選挙費 322万円
- ●鮫川村議会議員選挙費 356万円
- ●鮫川村長選挙費 260万円
- ●地方振興対策事業(各行政区長等報酬、行政区補助金) 1,316万円
- ●地籍調査事業(大戸中地区調査、青生野区大字・字創設) 2,784万円
- ●公債費償還(借入金返済) 3億5,016万円

Vision3 ＜農村の暮らしビジョン＞

生活安心を「まめ」な協力で

みんなが安心して生活できる村の実現

①安心生活ができる公共交通づくり

- ●生活バス路線運行事業(福島交通バス補助金) 600万円
- ●村営バス特別会計繰出金 280万円
- ●生活路線バス維持特別対策事業(通学定期券補助事業)【新規】 265万円

②安心生活を支える情報

- ●携帯電話用鉄塔施設整備事業(前折戸地区) 6,422万円
- ●光ケーブル維持・管理事業【新規】 1,016万円

③多様な暮らしの工夫

- ●村営住宅建設事業(広畑団地建替事業【新規】、宿ノ入団地共同アンテナ接続工事) 1億599万円

④火災と災害への備え

- ●非常備消防費(消防団員報酬、団旗・分団旗購入など) 1,207万円
- ●消防施設整備事業(小型動力ポンプ付積載車２台) 765万円
- ●広域消防運営費(白河地方広域圏負担金) 7,405万円

⑤安心安全の地域づくり

- ●交通安全・防犯対策事業(防犯灯・カーブミラー整備) 150万円

⑥安心生活ができる保険・医療・福祉の充実

- ●国民健康保険特別会計繰出金 4,416万円
- ●後期高齢者医療給付事業(後期高齢者医療特別会計繰出金など) 6,776万円
- ●介護保険事業(介護保険特別会計繰出金) 7,039万円
- ●住民健康診査事業(健診委託、健康管理システム費) 1,807万円
- ●予防接種事業(子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌【新規】、季節性インフルエンザなど) 997万円

⑦安心生活ができる高齢者の保健と福祉の充実

- ●村民保養施設運営事業(村社会福祉協議会へ委託) 1,000万円
- ●社会福祉協議会活動費補助金 2,338万円
- ●敬老祝金支給事業・敬老会開催 586万円
- ●一般高齢者支援事業(筋力づくり教室) 402万円
- ●高齢者生活支援事業(在宅高齢者お助け事業【新規】、高齢者優良賃貸住宅管理委託、緊急通報システム借料など) 1,249万円

⑧子育て支援体制づくり

- ●乳幼児紙おむつ給付事業(月額5,000円助成) 372万円
- ●出産祝金支給事業(50,000円) 165万円
- ●子ども手当支給事業 8,030万円
- ●保育園運営事業 1億225万円
- ●こども医療費助成事業(15歳まで) 1,175万円
- ●妊産婦健康診査事業(15回まで無料、白血病検査【新規】) 343万円
- ●幼稚園運営事業(入園料・授業料無料化【新規】、運営費) 2,574万円

⑨障害者の支援体制づくり

- ●重度障害者支援事業(重度心身障害者医療費など) 995万円
- ●障害者福祉事業(自立支援給付費、自立支援臨時特例基金給付費、たんぽぽの家運営費補助金【新規】など) 7,659万円

ピックアップ
PICK UP

鮫川村で出会ったモノ

緑のふるさと協力隊活動報告（写真・文／松本かおり）



緑のふるさと協力隊として昨年４月に鮫川村にやってきた松本かおりさん。３月10日、無事１年間の任務を終え旅立ちました。

広報さめがわでは、毎月「私と鮫川とぷーちゃんと」と題して、彼女の鮫川村での体験記をご紹介してきました。今月号では、１年間の活動をまとめた報告書が完成しましたので、ご紹介します。

彼女の目には鮫川村がどのように映ったのでしょうか。

■はじめに　―私が鮫川村に来た理由―

２００９年秋、大学４年生だった時に「第17期緑のふるさと協力隊」に応募することを決意し派遣が決定することから、鮫川村との関係が始まります。

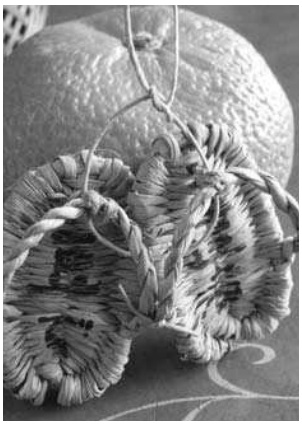
緑のふるさと協力隊とは、都会の若者を農山村に１年間派遣するＮＰＯ法人地球緑化センターの事業で、「農山村という魅力あふれるフィールドを若者に知ってもらう一方、その若者の助けを借りて、農山村に住む人たちに地域の魅力を再発見してもらうプログラム」です。緑化センターと自治体と協力隊隊員の三者が連携し、地域づくりや若者の新しい進路の開拓を目指します。

私はどんな生き方がしたいのか、どんなシゴトがしたいのかという進路選択で悩んでいた時に協力隊事業を知り、「１年間の農村生活」に魅力を感じました。短期間の農業体験ではなく、１年を通した農村生活をすることができる。農作業だけでなく、農村の地域を体験できる。その１年で自分の人生にプラスになることを得ることができるはずだと直感し、協力隊に応募しました。

鮫川村を希望した理由は、役場が提出した「どんな村か、どんなことをしてもらいたいか」という資料に、天体観測会と大豆生産の文字があったからでした。天体観測会に魅かれたのは、単に星が好きだったからです。大豆に魅かれたのは、もし将来農業をするなら、大豆と米は絶対作ろうと思っていたからです。味噌、醤油、豆腐、きな粉など大豆加工品は毎日の食卓に欠かせないのに、大豆を輸入に頼っている現実がある。農業に興味を抱いたときから、そんな矛盾はおかしいと感じていました。だから、大豆で地域づくりをし、大豆栽培に力を入れている鮫川村がとても魅力的だったのです。

村の第一印象

鮫川村に着いて、まず冬だと思いました。地元（兵庫県）では桜が３月の末に咲き、コートも脱ぎすて、春の装いだったのに、暖房器具はまだつけている、４月に雪が降る（村でも珍しいとは聞きましたが）。玄関を入ればすぐに掘りごたつというのは物珍しくて、炭ごたつには初めて入りました。そして何より、村の人同士で話している会話を聞き取ることが難しいことは衝撃的でした。何を言ったのかわからなくて、聞き直してもわからないことも何度もありました。勘違いして受け取り、秋まで気が付かなかったこともありま











す。同じ日本といえども、今まで生きてきた場所とは全く文化が違う。国内留学という言葉、まさにその通りだと思いました。

活動内容

協力隊としての主な活動は、農作業や交流事業やイベントのお手伝い、地域資源の調査などでした。役場企画調整課を拠点として、大学生や都市の人との交流事業で地域の人とつながりができ、また西山区に住まわせてもらったので地域の共同作業や行事にも村民として参加させていただきました。

休みの定義はあいまいでした。それは、協力隊が仕事ではなく活動で、生活すべてが活動だからです。だから、農作業を手伝うことも、じぃちゃんばぁちゃんとお茶のみ話することも、行事に参加することも、人と関わることは活動と捉えていました。また、朝から晩までアンテナを張っていたいという思いもありました。もちろん、自分の時間もきちんとありましたよ。

村の日常

私にとっては、鮫川村の当たり前が非常に興味深くて新鮮でした。山や田や畑が移り行く風景も、夏は朝と晩方働き、冬は少しゆっくり過ごす農家さんのリズムも、突然訪ねても「あがらっしょ」「お茶飲まっしぃ」と家の中に招きいれてお茶飲み話することも、村にとって当たり前の日常が、特別な日常に感じました。

一方、都市の生活においては、美しい山の風景は一枚の写真に切り取られた景色など視覚だけに訴えかけるもの。野菜は人間が食べておいしいと思う結果の姿だけを消費する。春夏秋冬変わらない時計時間で仕事をするため、天気にも関係なく仕事をし、仕事とプライベートがはっきり分かれる人も多い。よくわからない人がきたらインターホンで用件だけを話す。簡潔さや結果だけを求めるなら、それでいいと思います。むしろ今はそれが当たり前の社会です。でも、つながりが絶たれているために、本当に大事なことが見えにくくなっていると思うのです。

いつまでも冬だと思っていた風景は、いつの間にか淡く色づいていました。まるで水彩画の世界だと思うこともしばしばありました。きっと村に住む人にとっては一番好きな季節なのかなぁと思います。待ちわびた春、動き出す春。

ある農家さんは「何にもなかった田んぼが青田になったら感動だよ」と言いました。でもその時私は理解できても実感することはできませんでした。なぜなら、体験としての田植えしか経験していなかったからです。稲を植える前の田んぼがどんな状態だったか知っている、という以前に、去年の秋に今年はこうだったから来年はこうしたいと考えていた。長い冬を越え、土づくりもして、やっと新しい苗が田んぼに植わった。苗の状態を見て、今何が必要なのかを考える。子どもを育てるように気に掛ける。収穫の喜びもつかの間、また来年のことを考える。そのサイクルの中に、つながりの中にいるか









ら、その言葉が言えるのだと、今は思います。

くわとしわ

農家さんと農作業をしていると、その速さや正確さ、力強さ、そして美しさに驚きます。特に鍬・かけや使いは、動作の美しさに思わず見とれたこともありました。力強く、しなやかで、道具をまるで体の一部のように使うのです。無駄な動きが一切ない。同じようにやろうとしても、変に力が入りすぐに疲れてしまいます。農家さんの作業の美しさは苦労や試行錯誤の経験を積み、余分なもの、無駄なものが削がれた本質そのものだと思いました。何度も何度も経験し、どうしたら楽にできるか、どうしたら速くできるか、どうしたらきれいにできるか、どうしたら…と常に考えている。昔はこうした、こうだったと話を聞いて、昔からずっとやっているという事実があるからこそなのだと思いました。

「生きてたらな、いろいろあるわな。」昔の苦労を笑顔で話してくれるばぁちゃん。その顔のしわにすべて刻み込まれている気がしました。一生懸命生きてきた証。鮫川のリズムで生きてきた印。一生懸命生きてきた、そのばぁちゃんのしわがとても愛おしく思えました。多くを語らない、でも一生懸命さが伝わってくるじぃちゃんのしわも大好きでした。どんな風に生きてきたかでしわが刻みこまれる、それは本当だと思いました。年をとればしわが刻まれる。それなりに生きてくれば、それなりに。同じく刻まれるならば、こんなばぁちゃんのような、じぃちゃんのようなしわを刻みたいと思いました。



美しい鍬使いはすぐにできるものではないし、簡単にできるものでもありません。きっと時間をかけて、経験を積み、ゆっくりゆっくり変化する。その結果としての美しさや現れてくるしわ。今できることは、それらに触れることと、一生懸命に生きることだと思いました。これは何にだって言えることで、すぐに素晴らしい結果がでることなんて多くないと思うのです。

農業のこと

化学肥料や農薬の使用をなくした農産物の生産に憧れていました。化学肥料や農薬が土を汚染し、水を汚染する。そこで作られたものを食べる私たちは汚染される。農業が環境を破壊した。自然に寄り添った農法をすべきだ、と思っていました。

村でも資源循環型農業を推進しています。堆肥センターが建設されたり、手まめ館で講習があったりします。でも、村に来て思ったことは、化学の力で日本の食卓は潤い、村の人が生きてこれたということでした。化学の力がなければ、都市部で野菜を買うことは









できない。村の姿もまた違うものだったのかもしれません。それがなければ生きられなかったという現実を知りました。

一方で、化学の力の怖さも知りました。和紙を作るときに使う漂白剤。それは素手で触ってはいけない、直接吸ってはいけない劇薬です。でも、食品添加物の文字が書かれている。食品に添加するのはごく微量でしょう。ほんの少ししか入っていなくても、積み重ねや濃縮するとどうなるか、そんな危ないものを食べているんだと怖くなりました。

化学肥料や農薬の使用を減らしたほうがいいという考えは変わりませんが、一方的に悪だと決め付ける考え方は変わりました。杉の木もそうで、森を真っ暗にする杉の木は悪だと思っていました。でも、「オレが植えたんだー」「あの頃は補助事業でね…」と話を聞いたり、林業体験したりすると、杉が完全悪だとは思わなくなりました。

きっと今まで情報だけに左右されてきたんだなと思います。情報は端的で簡潔なモノに変えられることが多く、一部分の側面しか見せないことも多い。村ではつながりのある農作業をして、じぃちゃんばぁちゃんの昔話を聞きました。化学肥料や農薬を完全に悪だと決めつけて否定することは、生きるために必死だった時代を過ごしたじぃちゃんばぁちゃんを否定することのように思います。時代の変化に伴って、価値観も変化します。でも、よくないとただ決めつけるよりも、それまでを認めた上でこのほうがいいと思うほうが、未来が明るいと思いました。



食べること

たくさんのお家でごはんをいただきました。家族のためにと作ったものをみんなで食べる。みんなで食べるから、またおいしさが増す。

敬老会の日に、「家のばぁちゃんは、ほんとに元気でよく食べるんだ。食べることは生きることってホントだよ。」と言う人がいました。病気をして一定期間食べることができなくて驚くほど痩せてしまった人が、「食べられることってほんと幸せだよ。」と言いました。食べることは生きること、生きることは食べること。食べるという当たり前のことが、実は一番の幸せではないかと思います。

手まめ館のお母さんは「愛情って手間暇かけることだと思うの。」と言いました。大学の講義の中で「愛情と時間は比例する、愛情はその対象に対してどれだけ時間をかけられるかだ」と聞いたことを思い出しました。だけど講義で聞いた時よりも、あんこを作りながら聞いた時の方がぐっと心に響きました。

食べること。それは当り前のことだけど、人としての幸せがいっぱい詰まっている気がします。

山さ行ぐ

鮫川村の人は「畑に行く」ことを「山さ行ぐ」と言います。ワラビやヨモギなどを採りに行くことと、畑の野菜を収穫することと大きく差がないのかなと思います。昔の食糧難の時代は











山を切り開いて畑や田んぼを作ったから、家の後ろに山を背負っているから、いろんな理由があるでしょう。いずれにしても、鮫川村の豊富な食材は「山」から収穫されていると思いました。

多様な文化

たいていの食卓の場にあったモノ、それはその家自慢のお漬け物。季節を通して、いろんな種類の漬物がありました。同じ大根の漬物でも家によって本当に味が違う。漬け方が違う。それぞれの良さがある。鮫川村の食の代表格だと思います。その人その人の、その家その家の方法や味がある。地域全体からすると、多様な個性の集まりだと、私は思いました。

また、節分の話を数人集まった場所でしたとき、うちはこうだよ、ここはこうだと情報が飛び交いました。凍み餅づくりや凍み大根づくりも、家によって違う方法でつくることを知りました。家ごとに方法が違っていて、それを知らないわけではない。自分を認め、他を認めることが普通にある。他を認めるから関係は安定している、自分を認めるから多様性があると思います。

学校の行き帰りに山の木の実を採って食べたんだ、と何人もの人が話してくれました。山の中を歩き、食べられるものを採取することは日常にあって、だから、村外の人が山を歩くよりも、ずっとたやすいことなんだと思います。それは、小さな頃からこの地に生き、ここで生きる術を知っているからと言い換えることができます。

山と畑の境界のあいまいさ。食糧難の時代に食べるものを探し歩いたから、

一方で、じぃちゃんばぁちゃんの言葉と若い人の言葉は少し違います。テレビが標準語だから、学校が標準語だから、時代の波は言葉も統一しようとしている。でも、鮫川言葉を受け継いでほしいと願います。言葉を受け継ぐということは文化を受け継ぐということだと思うからです。

村に思うこと

鮫川村は「まめで達者な村づくり事業」が村外からも注目を集め、交流人口も増えているようです。東京農業大学の里山景観保全活動、東京鮫川会の探訪ツアー、千葉県の小学生の教育旅行、農協観光ツアー、田んぼや柿の木のオーナー制度など去年もたくさんありました。協力隊事業も都市との交流のひとつでしょう。村外から来た一人として、村に思うことがあります。

それは、昔の話を伝えていってほしいということ。昔こうだったから今があるということを教えてほしい。昔から変わらないこと変わってしまったこと、それがあるから今がある。それと、1日、1か月、1年というサイクルと地域内のつながり。継続と変化と循環と絆と…そんなつながりがここにはあると思うのです。ある農家さんは休憩中に、昔の村の様子、今の村や村づく






りのこと、将来の姿の予想や理想を話してくれたことがありました。このとき、過去現在未来を同じように考えていることに強く感銘を受けたことを覚えています。つながりがあるここにいるから、それが普通のことだから、そんな風に考えることができるのかなと思いました。

都市部では、常に自分は世の中より劣っているかもしれないというイメージに囚われている人も多い。他人と比較して、他人からの評価を気にして、自分を形づくるものも軸とするものもないままに。そして自分の居場所を見失ってしまう。鮫川村のようにいろんなつながりがあるところでは、それを受け止めてくれるような気がします。だから、農村には可能性がある、農村から社会を変えることができると思うのです。どうか、このつながりがあることを、日々の生活の幸せを、今を生きることを、若い人へ、子どもたちへ伝えてください。

■おわりに

1年間でたくさんの気持ちを頂きました。それは言葉だったり、表情だったり、気持ちのこもったモノだったり、受け止められないくらい、たくさんいただきました。遠くから一人で来ていることに対して、私以上に地域の皆さんが気にしてくださったように思います。そんな思いは親心にも似ていて、また、若者や子どもを地域で育てていたという、昔、当たり前だったことも似ているように感じました。

また、今を生きるという言葉の本質にも気づくことができたような気がします。日々の活動では自分の目で見て、自分の耳で聞いて、自分の手で触れて、自分の感覚を目いっぱい使いました。そこには今を生きるという実感がありました。そして、数日後、数か月後、数年後に何かを得るために今一生懸命頑張って、頑張りながらも、今どんな状態にあるのか、これからどうなるのか、どうしたら楽にできるのかを考えている。物事の全体やずっと先を見つめながらも、今を頑張り楽しんでいる。それが、今を生きるという言葉の本質なのかなと思いました。



目指すところが変わらなければ、その方法や手段は柔軟に変化してもいい。そう思うようになりました。

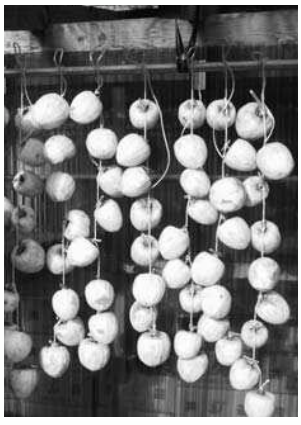
ここで得たこと、気づいたことをすべて言葉にすることができたかどうかはわかりません。この1年で、本当にたくさんの気づきときっかけと恩をいただきました。今すぐにすべての恩返しをすることは難しいことですが、いづれそれにつながることができるように、一生懸命生きていきたいと思います。1年間、ありがとうございました。

―感謝の気持ちをこめて―









鮫川村のお子さんの歯の健康を支援します

幼児歯科個別健康診査の対象月齢が増えます

むし歯は食生活を中心とした日常生活習慣、育児環境、保護者の健康観などと密接な関係があり、生活の歪みが「むし歯」として現れてきます。

生まれてから三歳までは、特に生活習慣をつくる大事な時期で、生えた歯がむし歯にならないように歯の健康管理がとても重要です。

村では「歯科個別健康診査」をさめがわ歯科診療所に委託して行っています。

「二歳児歯科健診」に加え、「二歳六か月児歯科健診」「三歳児歯科健診」の合計三回歯科健診が受診できます。

■目的

幼児の歯科健康保持増進のため、歯科定期健康診査の健診費用負担の軽減および積極的な歯科健診の受診を図り、むし歯を予防することが目的です。

■歯科定期健診の必要性

平成二十二年三月に福島県幼児歯科健康診査マニュアルが作成され、鮫川村ではこのマニュアルに基づいて計画しています。

一歳六か月以降は三～六か月ごとの定期健診の機会が必要になります。特にむし歯になりやすい二歳六か月から三歳児健康診査までの時期は食生活では何でも自由に食べられる時期になりますので、特に注意が必要です。歯科健診を上手に受診しながら、むし歯を予防しましょう。

■対象者

鮫川村に住所がある幼児で、平成二十三年四月以降に二歳、二歳六か月、三歳になる児が対象です。（対象者には個別通知します）

■受診期間

受診票が届きましたら、一か月の間に受診しましょう。

■健診内容

①歯科医師による口腔内および歯科診察、相談

②歯科衛生士による寝かせ磨きおよび歯科保健指導

■歯科健診までの準備

泣かないで歯科健診が受けられるように、口を開けたり、歯ブラシが口に入っても大丈夫なように、毎日寝る前は仕上げみがきの習慣をつけましょう。また、日々の生活の中で次にあげる事項はハイリスクになりますので注意しましょう

▼甘いお菓子をほぼ毎日食べる
▼ジュース、乳飲料、スポーツ飲料をよく飲む
▼間食の回数が3回以上
▼哺乳ビンを使用または、就寝前の授乳

生活習慣病である「むし歯」はこうしてできます

①栄養分…食べ物の残りカスが歯にくっつきます。**甘いお菓子**、**ジュース**などです。

②食べる…残りカスの中にある糖分を**むし歯菌**（ミュータンスレンサ球菌）が食べます。

③歯が解ける…むし歯菌が砂糖を食べ、酸を出します。その**酸が歯を溶かし**、むし歯をつくります。

■問い合わせ　村住民福祉課健康係
☎４９－３１１２

鮫川村の妊婦さんと赤ちゃんの健康を支援します

「妊婦健康診査」の検査項目が増えます



妊娠中の定期健診は、丈夫な赤ちゃんを産むためにとても大切です。

村では「妊婦健康診査」を医療機関に委託しています。

妊婦が安心して受診できるように十五回分の健康診査費を公費負担しています。平成二十三年四月から検査項目が二項目増え、より充実しま

す。

■**目的**

母体や胎児の健康保持増進のため、妊娠中の健診費用負担の軽減および積極的な妊婦健診の受診を図ることが目的です。

■**対象者**

鮫川村に住所がある妊婦（妊娠の届出をした者）で、後期健診を平成二十三年四月以降受診する方が対象です。すでに出産をされた方や平成二十三年三月までに後期健診を受診された方は対象外です。

■**後期健診の追加項目（妊娠三十週頃受診）**

①ＨＴＬＶ―１抗体検査（妊婦白血病ウィルス検査）…成人Ｔ細胞白血病（ＡＴＬ）や脊ずい症（ＨＡＭ）を発症する白血病ウィルス（ＨＴＬＶ―１）の検査です。

②クラミジア検査…初期症状はとても軽く、早期発見が難しく最も感染が広がっている性感染症です。妊婦さんの場合は産道感染した赤ちゃんが結膜炎や肺炎を起こすこともあります。

■**費用**

全額村負担ですが、その他、医師が必要と認めた検査については、自己負担になりますので、検査などを受ける場合は医師とご相談ください。

■**受診票が変わります**

すでに交付されている方は再交付になります。（個別に通知済みです）

■**妊娠届はお早めに**

妊娠がわかった方は、ご本人が役場においでになり、妊娠届け出をしましょう。届け出をする場合は、事前に電話などの連絡をお願いします。

■**問い合わせ**　村住民福祉課健康係　☎４９－３１１２

江竜田山林火災を教訓に

合同林野火災防御訓練を実施



防災ヘリによる消火活動



消火訓練

東白川郡内の消防団と棚倉消防署および分署、福島県消防防災航空隊などの合同による林野火災防御訓練は二月二十七日、渡瀬字下地内で繰り広げられました。

村消防団員をはじめ、東白川郡内の消防団など総勢三百人が参加。昭和六十二年四月に鮫川村と塙町にまたがる山林で発生した大規模林野火災を教訓に、各団体の相互の技術向上と連携活動を確実なものとし、地域防災体制の確立を図ることを目的に行われました。

訓練は、乾燥・強風注意報が発令され、各消防団体が警戒中、渡瀬字下地内の山林で火災が発生。折りからの強風にあおられ周囲の山林に飛び火し延焼拡大した―との想定で行われました。水利部署の選定やホース延長、中継送水を行い消火活動が繰り広げられました。県消防防災航空隊の防災ヘリコプターも出動。上空から散水し、本番さながらの訓練を行いました。

参加者は、有事を想定した訓練に真剣に取り組み、万一の大規模火災に備え消火活動の連携を確認し合いました。

■村職員人事異動

■**異動（４月１日付）**　※（　）内は旧所属

[係長職]▶教育課教育総務係長（企画調整課商工観光係長）**古舘甚子**▶学校給食センター所長心得（学校給食センター次長）**舟木正博**▶企画調整課商工観光係長兼交流施設係長（企画調整課主査）**我妻正紀**

[主査職]▶農林課主査〔併任〕農業委員会主査（住民福祉課主査）**圓井智子**▶地域整備課主査（総務課主査）**生田目昌信**▶農林課主査〔併任〕鮫川村土地改良区派遣（農林課主査〔併任〕農業委員会主査）**岡部徳子**

[主任主事職]▶総務課（地域整備課）**本郷睦**

[主事職]▶住民福祉課（企画調整課）**川名誠**

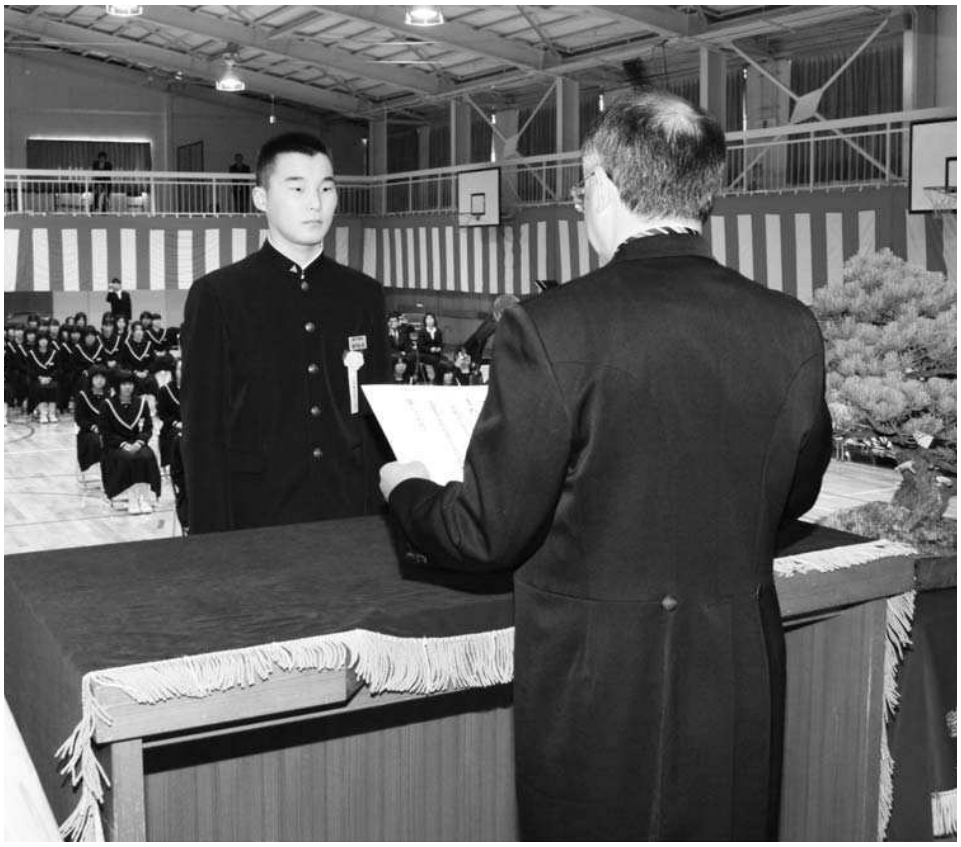
■**新採用（４月１日付）**▶企画調整課　**前田静香**▶農林課　**菊地弘倫**

■**退職（３月31日付）**▶**芳賀伊津子**（教育課長補佐）▶**岡崎かつ子**（学校給食センター主任調理員）

1 NEWS
思い出の学び舎を巣立つ
鮫川中学校で卒業証書授与式

鮫川中学校の卒業証書授与式は三月十一日、同校体育館で行われました。

式では、卒業生四十九人（男子二十六人、女子二十三人）一人ひとりに、高橋顕校長から卒業証書が手渡され、来賓の大槻村長、前田三郎村議会議長、関根政一ＰＴＡ会長からはなむけの言葉が贈られました。また、在校生を代表して中川西光司さんが送辞を、卒業生を代表して芳賀亜沙美さんが答辞を述べました。



49人が巣立った鮫川中学校卒業式

2 NEWS
村学校給食センターが東北農政局長賞を受賞
平成22年度「食育」活動優良事例表彰式

平成二十二年度「食育」活動優良事例表彰式が三月八日、宮城県仙台市で行われ、村学校給食センターが地場産活用分野において、東北農政局長賞を受賞しました。

表彰は、食生活向上分野、教育ファーム分野、地場産活用分野の三部門に六団体が表彰されました。村学校給食センターは、地場産品を活用した取り組みや生産者との交流などが高く評価されました。



賞状を手にする舟木次長と芳賀栄養技師(中央)

3 NEWS
さめがわ民話の会を発足
村公民館事業「語り部養成講座」が終了

昨年七月から行われていた村公民館事業「語り部養成講座」がこのほど終了し、三月八日、講座を終えた十三人に「さめがわ語り部認定書」が交付されました。

講座は、村に伝わる昔話ゆかりの地を訪ねたほか、昔話を題材に方言を使い、語り部の練習を重ねてきました。今後は「さめがわ民話の会」として、村に伝わる昔話を子どもたちに伝えていきます。



認定書が交付されました

4
NEWS

思い出を胸に新たな旅立ち
県立修明高校鮫川校で卒業証書授与式


32人が学び舎に別れを告げた卒業式

県立修明高等学校鮫川校の卒業証書授与式は三月一日、同校体育館で行われ、三十二人が学び舎を巣立ちました。

式では、青山修身校長から卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡され、大樂村長、堀川照夫ＰＴＡ会長、蛭田昌一同窓会長が来賓祝辞を述べました。続いて、在校生代表の笹島千秋さんが送辞を、卒業生代表の根本香織さんが答辞で卒業への感謝の言葉を述べました。

5
NEWS

スポーツを通して交流深める
村スポーツ少年団主催「体力測定＆スポーツ交流会」


ドッヂビーで交流を深める子どもたち

村スポーツ少年団主催の「体力測定＆スポーツ交流会」は三月六日、村農業者トレーニングセンターで行われました。

交流会には、村スポーツ少年団に所属する野球部、器械体操部、少林寺拳法、テニス部の部員約八十人が参加。はじめに握力や立ち幅跳び、反復横とびの体力測定が行われました。その後、フライングディスクを使ったドッチボール形式の「ドッヂビー」で交流を深めました。

6
NEWS

思い出いっぱい作ったよ
チャレンジスクール第８講座・閉講式


和紙に思い思いの絵を描く子どもたち

村公民館事業「チャレンジスクール」第八講座および閉講式は三月五日、村公民館で行われました。

小学生約四十人が参加。講座では、鈴木米子さん(新宿)、齋須信子さん(新宿)を講師に絵手紙を作成しました。子どもたちは、指導を受けながら「和紙」に野菜やおもちゃなどを思い思いに描いていました。

引き続き閉講式が行われ、一年間の活動を振り返りました。

7
NEWS

中野7チームが熱戦制す
第11回クロリティー大会


得点を競い合ったクロリティー大会

村老人クラブ連合会主催の第十一回クロリティー大会は二月二十四日、村農業者トレーニングセンターで行われ、中野7チームが熱戦を制しました。

大会には、村内の老人クラブから二十六チームが参加。予選リーグを勝ち抜いた十チームが決勝トーナメントで熱戦を繰り広げました。

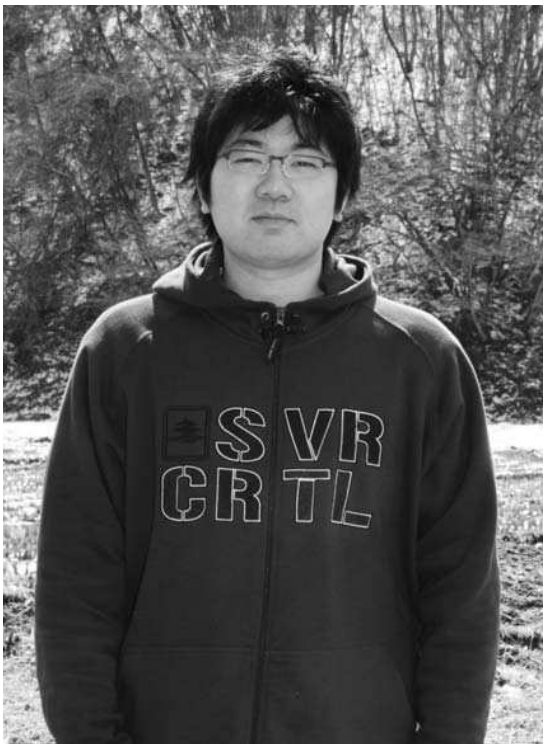
成績は次のとおり。

①中野7チーム②東右1チーム③西野2チーム、渡瀬5チーム

みんなのページ

矢吹　和彦 さん
Kazuhiko YABUKI

やぶき・かずひこ●昭和61年６月生まれ。赤坂中野字大塩在住。趣味…フィギュア収集、ネットショッピング、ゲーム。



みんなのページは、
みなさんが参加するページです。
身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
ＴＥＬ　0247-49-3115
ＦＡＸ　0247-49-3363
Eメールアドレス
kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp
企画調整課企画振興係
「広報さめがわ担当」まで

村民［随想］リレー ⑮③

シンキイッテン

三月十一日は忘れられない日になりました。この原稿を依頼されて数日後、東北関東大震災が発生し、多くの方がなくなりました。被災した方も多く、私の知り合いも何人か被災しましたが、みんな命だけは無事でした。私の元にも遠く離れた知り合いから安否を心配するメールが届き、出会いとはとても尊いものなんだなと感じました。

多くの地域で地震の被災が出ていますが、私の職場でも災害が大きく、四月からの見通しはたっていません。どうなるのか分からず不安が募ります。

そんな中、鮫川村の被害は少ないようで、防災上も安心できる村なのではと、鮫川村の新たな一面を感じました。

今まで体験したことのない大災害に悲観的になりがちですが、心機一転し、一歩一歩ゆっくりと復興への道を歩んでいければいいと思います。■

次は、鈴木翔さん（赤坂中野字新宿）にバトンタッチ！

局／試験日および内容…①一次試験［教養試験・専門試験］＝６月12日（日）、②二次試験［人物検査・身体検査］＝７月19日（火）～／問い合わせ…仙台国税局人事第二課☎022-263-1111

●小学生～高校生のための夏休み海外派遣参加者募集　文部科学省所管の財団法人国際青少年研修協会では、10事業の参加者を募集しています。体験を通して、お互いの理解や交流を深め、国際性を養う事を目的に実施します。事前研修会では仲間づくりから丁寧に指導いたしますので、安心してご参加いただけます。／内容…ホームステイ、ボランティア、文化交流、学校体験、英語研修、地域見学、野外活動など／派遣先…アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、シンガポール、サイパン、カンボジア、フィジー／日程…７月23日（土）～８月14日（日）８～18日間※事業により異なります／対象…小学３年～高校３年の方まで／参加費…23～54万円／締め切り…６月３日（金）および13日（月）／問い合わせ…財団法人国際青少年研修協会☎03-6459-4661

TOPICS

●自衛隊入隊者を激励



自衛隊入隊者激励会は３月３日、村長室で行われました。今回、自衛隊に入隊するのは、緑川誠さん（赤坂中野字取上・福島駐屯地（自衛官候補生）陸上）で、村などから緑川さんに対し激励の品が贈られました。（写真：激励を受ける緑川さん）

広報 文芸

卯月（うづき）



俳句

花見山笑う花花子と共に　中井　恒峯
デイケアの車去り行く雪解路　松本　精一
ゆるゆると歩を進めおり春探し　北條　素人坂
雑炊を作る日多き二月かな　山本　恵子
蝋梅の花咲き満ちて陽を零す　前田　縫子
合格の祈願賽銭はづませる　小松　ハルエ
鷺悠々万作の花光り出す　斎須　信子
山里を春だと駆ける風　黒田　寿香
春寒し舗装工事の遅々として　鈴木　米子
ほとほとと雨戸をたたく雪女　土竜　奄

短歌

一峡を撓め尽くせり春の雪　山本　五十鈴
天よりの賜物と聞く長生に今日も試練の足運びおり　坂本　雪絵
従弟来てお兄ちゃんと慕われる末っ子内孫張り切る笑顔　鈴木　イミ子
養生訓軽んじるなと自らに誓いて暮らす日々の明るき　前田　初
春来れば忙しくなる農婦よと見渡す里の雪解け早し　遠藤　秀
花冷えにも健気に匂う花桃はわれに送り来耐えの心を　佐藤　春枝
運動会曾孫の走り早くして二番となるに老いも拍手す　藤田　トク
一人居も寂びしくあらず訪う人の日増しに増えて春風の吹く　柿沼　鯉乃
わが住家いつしか花に包まれて香を送り来る季となりたり　須藤　幸子
花作り野菜作りの日常に健やかならむ　心の夜明け　水野　珠子
里の家離れておれば日々に訪う鴉も寂びしく待つにやあらむ　中島　三次
雨降れば外には出ないだけのこと老には無理の文字は敵なり　関根　瑞恵
わが作る野菜や瓜を目に描くそのたのしみに春を待つなり　矢吹　定子
酸素負う夫も野良着に着替えつつあれこれ指示の畑に出づる　溝井　清乃
この冬も生きて緑を匂わせる若菜にそよぐ早春の風　坂本　伊紀
老兵の一徹さかも弱腰の外交時に一喝したき　一　平子
春雪に溶け込む如くに雛壇の微笑む内裏のうす紅映える　石井　幸子
我が庭の春に目覚めて福寿草咲けば雑草負けじと芽を出す　杉山　磯子
漢詩あり「徳は弧ならず」うなづけり襟を正して我が身を思う　松本　一郎
早春の息吹感じる青い芽の雑草なれど愛しく感じる　前田　喜三子
夜半にして目覚めるままに窓辺より信号の赤に心は静もる　藤田　千代子
雪残る土手に顔出す蕗の薹夕餉の卓に供えんとせむ　関根　ハナヨ
農政に迷いつつ樹てる稲作を老いの執着もくもくと進める　関根　富久
生かされている年輪は九十五歳生き生き人生百歳目指す　鷺野谷　満
残雪に「雨降ってきた」とさわぐ妻寒さ和らぎ雪解け早まる　板橋　源良
慈しみ育てし仔牛明日競りに出さむ名残の写真とりおく　関根　キヌ子
年毎の老いと若さを天秤に心で勝てる若さに老いは　矢吹　一二
ふくらみし梅の蕾を淡雪がふんわり包みうす紅の浮く　北條　平
吾が里の辛夷の花芽ふくらむを巡りし夢路朝日に覚まさる　関根　一好

私と鮫川とぷーちゃんと Vol.12

緑のふるさと協力隊・松本かおりさんの鮫川村体験記です。

鮫川村の皆さまへ

緑のふるさと協力隊として１年間、鮫川村で生活させていただきました。「広報読んでるよ」と、会う人に、また会う人に言われて、照れくさいなぁと思いながら、その時思ったことや伝えたいことを言葉にしたつもりです。

タイトルは、金子みすずの詩の「私と小鳥と鈴と」を真似てつけました。その詩の最後にある、「みんな違ってみんないい」という言葉が好きで、ここでも大切にしていきたいと思ったからです。そして、その言葉の真意をここで得ることができました。ちなみにぷーちゃんとは大家さん家の犬の名前です。お互い認め合うことができたかどうかは不明です。

この１年、たくさんの人に、モノに、情景に出会いました。まだ会っていない人もたくさんいます。まだ見ぬモノも瞬間もたくさんあります。１年では村のほんの少しの部分としか関わっていないでしょう。それでも、誰よりも濃い１年を過ごさせていただきました。たくさんのきっかけをいただきました。たくさんの人のおかげで今があることを実感しました。本当にありがとうございます。これからも村の魅力が受け継がれますように、心よりお祈り申し上げます。

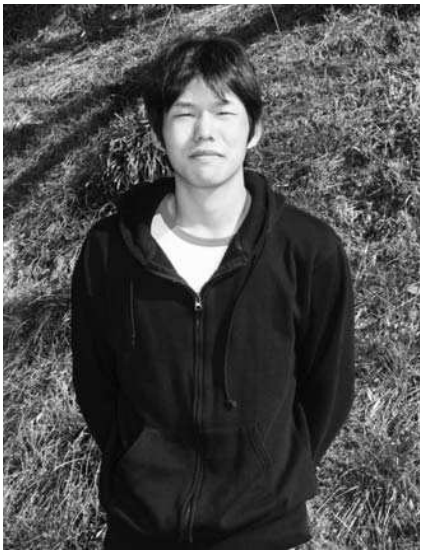
（文／松本かおり）

情報の泉 わくわく WAKU-WAKU

募集・案内

●白河司法書士総合相談センターをご利用ください　相談内容…不動産登記や会社登記、相続・遺言、多重債務、少額の裁判、成年後見などに関する法律相談／相談開催日…４月７日（木）、５月12日（木）、６月２日（木）／相談時間…午後５～８時／場所…マイタウン白河２階（白河市本町２番地）／相談料…無料／予約受付…事前に予約をお願いします。緊急を要するものについては最寄りの相談員を紹介します。（秘密は厳守します。）／予約時間…祝祭日を除く月～金曜日、午前10時～12時30分、午後１時30分～４時／問い合わせ…白河司法書士総合相談センター☎０２４８－２３－１７８５

●国税専門官採用試験（大学卒業程度）　仙台国税局では、平成24年４月採用の税務職員を募集します。国税専門官は、税務のスペシャリストとして法律・経済・会計などの専門知識を活かし、納税義務者に対して調査・検査・指導などを行います。／受験資格…①昭和57年４月２日から平成２年４月１日生まれの者②平成２年４月２日以降生まれの者で、大学を卒業した者および平成24年３月までに大学を卒業する見込みの者、または人事院が大学卒業同等の資格があると認める者／受付期間…４月１日（金）から４月14日（木）まで／受験申込書の請求…最寄りの税務署、仙台国税局第二課または人事院東北事務



自然がきれいなところですね。

矢内（やない）　安男（やすお）さん（23歳）
[赤坂東野字戸草在住]
誕生月　昭和63年７月
血液型　O型
星　座　しし座
趣　味　釣り

■仕事はどんなことをしていますか？
古殿町のマルイチ建材㈱で、側溝などのふたを製造しています。

■仕事で心がけていることはありますか？
不良品を出さないように、一つ一つ丁寧に作業しています。きれいな製品を造るように心がけています。

■休日はどんな風に過ごしていますか？
休日は釣りに出かけますね。今は、管理されている釣り場で釣りをしていますが、４月から渓流釣りなどができるので楽しみです。

■これからチャレンジしてみたいことはなんですか？
いろいろなことに挑戦してみたいですね。

■村に住んでいて感じることや、現在の村についてどう思いますか？
自然がきれいなところですね。車で走っていると峠から那須連峰が見える風景がとてもきれいです。それと自然を残したままの河川工事が多くて、魚が棲める環境が保たれているのでとてもいいですね。

■村に必要なもの、要望などはありますか？
がけ崩れなどの危険箇所を早く補修して、安心して住めるようにしてほしいですね。

■

次は、円谷和磨さん（富田字中沢在住）の予定です。

学校だより

（第78回）

鮫川中学校 編
高橋　顕 校長
生徒 110人

第六十四回卒業証書授与式
四十九名の卒業生　学舎をあとに…



三月十一日に行われた卒業式。厳粛な中で行われ、四十九名の卒業生が学舎を巣立ちました。

中学校の卒業式は、義務教育九年間の集大成としての思い出深い体験の場であり、地域の方々や保護者とともに卒業生の門出を祝う大切な行事です。厳粛で清新な気持ちを味わいながら行われた卒業式。

卒業生を代表して芳賀亜沙美さんが答辞を述べ、在校生を代表して新生徒会長の中川西光司くんが送辞を述べました。感謝の気持ちや明るい希望。残された伝統を受け継ぎ、新たな決意を抱かせてくれる内容でした。

生徒会総会開催
活発な質疑応答でした

二月二十三日、生徒会総会が行われました。

「無言清掃の点検は」「購買部の品揃えについて」など、これまでの実践が後退しないように、また新たな活動を模索してもらうために、いろいろな意見や質問が出されました。どの意見も貴重であり、きちんと検討することで生徒会が一層活発に活動することは間違いなく、とてもよい話し合い活動が行われました。



桜の苗木の植樹を行いました

二月二十二日、壇の岡の坂の南側斜面に一・二年生で三十九本の「桜の苗木」を村商工会青年部の関根巨樹さんの指導のもと、植樹を行いました。何十年後かに大きな花を咲かせてくれることを楽しみにして、ていねいに作業を行いました。



（文・写真　鮫川中学校）

第３回

鮫川村フォトコンテスト


「収穫」（第２回フォトコンテスト特選作品）

作品受付　平成23年 **12月20日（火）必着**
作品受付　12月５日（月）～20日（火）

テーマ　鮫川村の四季を感じる風景

表彰
特選（１点）　賞金５万円
準特選（２点）　賞金３万円

特選（１点）	賞状・賞金５万円・副賞
準特選（２点）	賞状・賞金３万円・副賞
入選（９点）	賞状・賞金１万円・副賞
佳作（５点）	賞状・副賞

※入賞作品につきましては、後日原版（銀塩写真の場合はネガ・ポジ・スライドを、デジタルカメラの場合はＪＰＥＧ形式で保存したＣＤ）を提出していただきます。

■**撮影地域**　鮫川村内に限ります。

■**応募規格**　カラー四つ切、ワイド四つ切またはＡ４版（デジタルカメラ可）の横版で、平成22年１月１日から平成23年12月20日までの間に撮影したもの

■**応募資格および条件**
- 居住地（村内・村外）、プロ・アマは問いません。
- 応募いただいた作品の著作権は鮫川村に帰属します。
- 応募作品は原則として返却しませんが、返却を希望される場合は、応募用紙に返却方法を記入の上、返信用封筒に切手を貼ってコンテスト係まで送付してください。
- 応募作品は、昨年の本コンテストおよび他のコンテストなどに応募したものは除きます。
- 入賞作品は、鮫川村ふるさとの四季カレンダーや村ホームページ、各種パンフレットに使用します。
- 応募点数は１人３点までとし、入賞（入選）は１人１点とさせていただきます。

■**審査発表**　１月に審査し、入賞者に通知するとともに、後日表彰式を行います。

■**問い合わせ**
〒963-8401
福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５
鮫川村役場企画調整課「鮫川村フォトコンテスト」係
電話　0247-49-3115　FAX0247-49-3363
Eメール　kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp

Information

くらしの情報 インフォメーション

役場の電話番号

0247-49-3111(代表)

【直通電話番号】

総務課	49-3111
	FAX 49-2651
住民福祉課［健康係］	49-3112
［住民係・福祉係］	49-3113
	FAX 49-2651
農林課	49-3114
	FAX 49-2112
企画調整課	49-3115
	FAX 49-3363
地域整備課［建設係］	49-3116
［環境係］	49-3196
	FAX 49-3363
農業委員会	49-3197
	FAX 49-2112
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
	FAX 49-3152
図書館(FAX兼)	29-1150
公民館	49-2247
農業者トレーニングセンター(FAX兼)	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター(鮫川保育園・鮫川幼稚園)	29-1010
	FAX 29-1012
保健センター(地域包括支援センター)	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ(FAX兼)	48-2555
手・まめ・館	49-2556
	FAX 49-2445
山王の里	48-2848
	FAX 29-2033

今月の納期
5月2日(月)
軽自動車税

◆お知らせ1

健診

住民健康診査(がん検診など)の申し込みについて

平成23年度の住民健康診査は、7月に実施します。各種検診については、「さめがわ健康だより第195号」「住民健診(がん検診等)申込書」「介護予防調査票(65歳以上)」を該当世帯に配付します。

内容をご覧いただき、家族で受診できる検診を確認して申し込んでください。

申込検診項目 結核、肺がん、喀たん、胃がん、大腸がん、前立腺がん、子宮がん、骨粗しょう症、肝炎

※なお、国民健康保険の特定健康診査および後期高齢者健康診査については、該当の方全員に受診録などを配付します。

※乳がん検診については、完全予約制のため、7月頃に申し込みの周知をします。

提出期限 組長さん、区長さんを通じて4月18日(月)までに役場住民福祉課に提出してください。組外の方は、直接役場に提出してください。

提出物 「住民健診(がん検診等)申込書」「介護予防調査票(65歳以上)」

※受診を希望しない方も提出のご協力をお願いします。

■問い合わせ 村住民福祉課健康係 ☎49-3112

環境

畜犬登録・狂犬病予防注射を実施します

平成23年度畜犬登録および狂犬病予防注射を次により行います。

期日 4月18日(月)～21日(木)の4日間 ※実施場所・時間などについては、回覧文書でお知らせします。

対象 平成23年4月18日現在で、生後91日以上の犬

注意 狂犬病予防注射の集合注射は、年1回の実施となりますので、忘れずに受けてください。

■問い合わせ 村地域整備課環境係 ☎49-3196

予防接種

定期予防接種対象の方および保護者の方

麻しんおよび風しんなどの感染症は、多くの健康被害を及ぼします。特に麻しんは感染力が非常に強く、病気にかかると、まれに急性脳炎をおこしたり、死亡することがあります。1回の予防接種では免疫を十分に獲得できないため、2回の予防接種を受ける機会が設けられています。定期予防接種は、接種できる期間が1年間と短期間ですので、学校行事などで忙しくならない4月から6月ごろの接種をお勧めします。

対象年齢や予診票の配布方法を次により確認し、接種しましょう。

各種接種の対象年齢(予診票配布方法)

●麻しんおよび風しん

Ⅰ期…1歳～2歳未満
〔保健師がお子さん宅訪問時に配付〕

Ⅱ期…5歳～7歳未満(幼稚園児)
〔保健師がお子さん宅訪問時に配付〕

Ⅲ期…12歳～13歳(中学1年生)
〔4月に中学校から配付〕

Ⅳ期…17歳～18歳(高校3年生)
〔4月に郵送で配付〕

●二種混合
11歳～13歳未満(小学6年生)
〔4月に各小学校から配付〕

日本脳炎予防接種について

接種対象年齢 Ⅰ期…3歳になるお子さん(平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれ)

※4歳～7歳半未満および9歳～13歳未満のお子さんで、Ⅰ期接種がまだ済んでいない方も接種できます。接種を希望される方は、役場住民福祉課健康係までお問い合わせください。

■問い合わせ 村住民福祉課健康係 ☎49-3112

◆お知らせ２

フレッツ光サービス開始の遅延について

東北関東大震災により、鮫川村の48局（青生野基地局）の「フレッツ光」サービス開始日（４月15日）が延期となります。光ファイバーの工事作業員の方々は大きな被害を受けた地域の復興のため、出動しており、村内の工事が休止となっています。該当地域の皆さんには、ご迷惑をおかけしますが、事情をご理解のうえ、ご了承いただきますようお願いします。なお、すでに申し込みをしている方には、別途ＮＴＴ福島支店から遅延の案内があります。

■**問い合わせ**　村企画調整課☎49-3115、ＮＴＴ福島支店☎0120-116-116

軽自動車税の減免について

平成23年度軽自動車税の納付書は、４月15日（金）に送付します。軽自動車税については、自動車税（県税）と同様、身体あるいは精神に障がいがある方で一定の要件に該当する場合は、申請により軽自動車税が減免されますので、４月25日（月）までに手続きを済ませてください。

なお、自動車税との併用はできませんのでご注意ください。

■**問い合わせ**　村総務課税務係☎49-3111

個人事業税（ソフトウェア開発業など）の認定基準が変わります

ソフトウェア開発の事業（広くコンピュータに関する事業）を行っている方について、これまでは個人事業税課税の対象外となっていましたが、全国的な課税状況などを踏まえ認定基準を見直すこととなりましたので、平成23年度（平成22年所得税確定申告分）から業務の形態によって課税の対象となります。詳しくは、県南地方振興局県税部までお問い合わせください。

■**問い合わせ**　県南地方振興局県税部☎0248-23-1517

自衛官採用試験のお知らせ

自衛隊では、自衛隊幹部候補生や一般曹候補生の採用試験を実施します。

●**自衛隊幹部候補生**

受験資格　22歳以上26歳未満の方で大学卒業者（予定者を含む）

受付期限　５月６日（金）

試験日　５月14日（土）※飛行要員は15日（日）に適正検査

●**一般曹候補生**

陸・海・空自衛官の中堅となる自衛官を養成する制度

受験資格　18歳以上27歳未満

受付期限　５月６日（金）

試験日　５月21日（土）

その他　試験内容について詳しくは、自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所までお問い合わせください。

■**問い合わせ**　自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所☎0248-24-0372

鮫川村街頭犯罪発生状況
棚倉警察署（☎33-3241）

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	0	0
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	0
事務所荒らし	0	0
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	0
無施錠	0	0
ガラス破り	0	0
鍵穴破壊	0	0
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	0	0
部品ねらい	0	0
自動車盗	0	0
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	0	0

発生件数：２月23日～３月９日
累計：１月１日～３月９日

●「自分だけは大丈夫」という安易な気持ちを持たず、自主防犯活動を行いましょう。

◆いきいき健康通信

村住民福祉課福祉係 蛭田みゆき保健師　☎49-3113

心のケアを心がけましょう

■**こころもケガをします**

災害や事故によるショックでこころは大きなケガをしてしまいます。こころがケガをすると「些細なことでイライラする」「夜眠れない」「その時の夢を繰り返し見る」「誰とも話す気にならない」など、いろいろな症状が起こることがあります。これらは多くの場合、自然に回復しますが、回復までに長い時間がかかることもあります。この状態がいつまでも続くと、ケガが治りにくくなったり、身体の調子にも影響を及ぼしたりする恐れがあります。

また、災害や事故の復興が長期化すると、今までの普通の生活が送れないことによるストレスが生じたり、不規則な生活が続いたり、お酒やタバコの量が増えたりと、ケガの回復や二次被害の発生に影響を及ぼす要因も生じてきます。

■**こころのケア**

こころのケガのお手入れと、二次被害を生じさせないために次のことをお勧めします。

①適度な休養を取る
頑張りすぎないで定期的に休みを取りましょう
②定期的な食事を摂る
③建設的な気晴らしをする
例：読書、趣味、運動、散歩など
④一人ではなく、誰かと一緒に過ごす
⑤できる範囲でいつも通りの生活のリズムを維持する
⑥気持ちを言葉にしてみる
自然な感情を抑え込んでいると、こころと身体に悪い影響を与えることがあります。自分の素直な気持ちを口に出してみましょう。
⑦回復の速さを人と比べない
回復の速さや程度は人それぞれ違います。周りと比べて無理に頑張らないようにしましょう。また周囲の方も理解し、せかさないで見守ってあげましょう。
⑧サポートを提供する人や場所を知り活用する

■**子どもや高齢者へのケア**

乳幼児や思春期のお子さん、高齢者は、環境の変化に敏感で影響を強く受けやすいため、特にこころのケアに努める必要があります。

▼安心感を与えましょう
①一人にしない、させない／②過度に叱らない／③ゆっくり話を聞く／④スキンシップを図る

▼手伝いなど、できることを見つけて現実的なことに集中させましょう

▼不安や緊張、興奮状態が治まらず、だんだんひどくなるような場合には、医療機関に相談しましょう

■**こころと身体のリラクゼーション**

気持ちを穏やかにする時間を作ることによって、よく眠れるようになり、集中力が高まり、エネルギーが出てきます。呼吸法を紹介しますのでお試しください。

●**呼吸法**
①鼻からゆっくり息を吸う
「ひとつ、ふたつ、みっつ…」（肺からお腹まで気持ち良く空気で満たす）
②空気が身体に行きわたるイメージで、そのまま2、3秒待つ
③今度は口からゆっくり息を吐く
「ひとつ、ふたつ、みっつ…」（肺からお腹までしっかり息を吐ききる）
④空気と一緒に気持ちの中のしこりが出ていくイメージで、そのまま2、3秒待つ
⑤ゆったりとした気持ちで5回繰り返す

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎29-1150



ピンクのれいぞうこ
(ティム・イーガン著、ひさかたチャイルド出版)
ボーッとしているのがすきなネズミのドズワース。ある日、がらくた置き場で見つけた不思議なれいぞうこ。ドアを開けると毎日違うものが入っているのです。新しいことにチャレンジしてみたら毎日がどんどん楽しくなるネズミのお話です。



木暮荘物語
(三浦しをん著、祥伝社出版)
小田急線、世田谷代田駅から徒歩５分、築ウン十年。全６室のぼろアパート木暮荘。人肌のぬくもりと心地よいつながりがあるアパート。うまい、深い、面白い三拍子揃った一冊です。

火	水	木	金	土
			4/1	2
5 ◆送迎バス運行日 (西野・西山・富田方面)	6 ◆送迎バス運行日 (中野・東野方面) ●各小・中学校入学式、始業式	7 ◆送迎バス運行日 (渡瀬・青生野方面)	8 ●入園式[こ]	9
12 ◆送迎バス運行日 (西野・西山・富田方面)	13 ◆送迎バス運行日 (中野・東野方面) ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●鮫川中３年生修学旅行 ●おはなしの森… 16:00～16:30[図]	14 ◆送迎バス運行日 (渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●鮫川中３年生修学旅行	15 ●鮫川中３年生修学旅行 ●青生野小授業参観	16
19 ◆送迎バス運行日 (西野・西山・富田方面) ●畜犬登録・狂犬病予防注射	20 ◆送迎バス運行日 (中野・東野方面) ●社会復帰支援事業(やまぶきの会)… 10:00～15:00[保] ●心配ごと相談…13:00～15:00[公] ●おはなしの森…16:00～16:30[図] ●畜犬登録・狂犬病予防注射	21 ◆送迎バス運行日 (渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●畜犬登録・狂犬病予防注射	22 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●鮫川小授業参観	23 ●鮫川中授業参観
26 ◆送迎バス運行日 (西野・西山・富田方面) ●ポリオ投与… 13:30～[保]	27 ◆送迎バス運行日 (中野・東野方面) ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●おはなしの森… 16:00～16:30[図]	28 ◆送迎バス運行日 (渡瀬・青生野方面) ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	29 *昭和の日* ㊡和田医院(棚倉町) ☎33-2012 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	30 ●親子遠足[こ]
3 *憲法記念日* ㊡大木医院(棚倉町) ☎33-2424 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	4 *みどりの日* ㊡金澤医院(矢祭町) ☎46-2312 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	5 *こどもの日* ㊡東白川中央病院 (棚倉町)☎33-3263 ●図書館休館日 ●トレセン休館日	6 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	7

[公]＝公民館　[保]＝保健センター　[図]＝図書館　[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

●お誕生おめでとうございます

（２月届け出分・敬称略）



江田（えだ）　彦希（げんき）・男
平23.2.2生
住所…荻ノ沢
保護者…和彦・夏美



本郷（ほんごう）　美穂（みほ）・女
平23.2.3生
住所…戸草
保護者…勇喜・あゆみ



芳賀（はが）　幸歩（さちほ）・女
平23.2.13生
住所…宿ノ入
保護者…省三・久美子



関根（せきね）　志歩（しほ）・女
平23.2.18生
住所…水口
保護者…学・智子

●おくやみ申し上げます

（２月届け出分・敬称略）

住所	氏名	月日	年齢
広畑	藤田　卓三	2.1	95歳
中山	國井鬼子治	2.2	84歳
折戸	阿久津春男	2.12	82歳
前田	金澤　岩美	2.17	69歳
彦次郎	鈴木　幸夫	2.22	84歳
上	松本　克男	2.26	49歳
中沢	石井ウメノ	2.26	101歳

●人の動き

3/1現在・（　）は前月比

人口	4,150人	（－1）
男	2,051人	（－6）
女	2,099人	（＋5）
世帯	1,171戸	（±0）

●寄付・寄贈

（２月受理分・敬称略）

■社会福祉事業のために[金員]…藤田洋美(広畑)國井俊治(中山)阿久津孝夫(折戸)金澤正男(前田)鈴木孝一(茨城県日立市)松本典子(上)石井一男(中沢)村老人クラブ連合会(青戸學男会長)

■ひだまり荘に[タオル]…村老人クラブ連合会(青戸學男会長)

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■３月11日、東北関東大震災が発生し、沿岸部では、津波により大きな被害に見舞われました。鮫川村は地盤が固く「地震に強い村」といわれていたことが、ウソのように大きく揺れました。現在も余震が続き、気が抜けない毎日です。１日も早い復興を願うばかりです。　（須藤）

4 生活情報カレンダー 月1日～5月7日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
3 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 *第１日曜日は環境美化の日*	**4** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●村診療所休診日
10 ㊡塙厚生病院（塙町）☎43-1145	**11** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●村診療所休診日 ●４か月児健診・BCG接種・お母さんの口腔健康相談…13：30～／塙厚生病院
17 ㊡木村医院（矢祭町）☎46-3528	**18** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●村診療所休診日
24 ㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 ●村議会議員選挙投・開票日	**25** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●村診療所休診日
5/1 ㊡東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 *第１日曜日は環境美化の日*	**2** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●村診療所休診日 ●軽自動車税納期限

㊡＝休日当番医



火打石のしだれ桜（赤坂西野字火打石）



官沢の地蔵様のしだれ桜（赤坂西野字官沢）



二段田のひがん桜（西山字二段田）



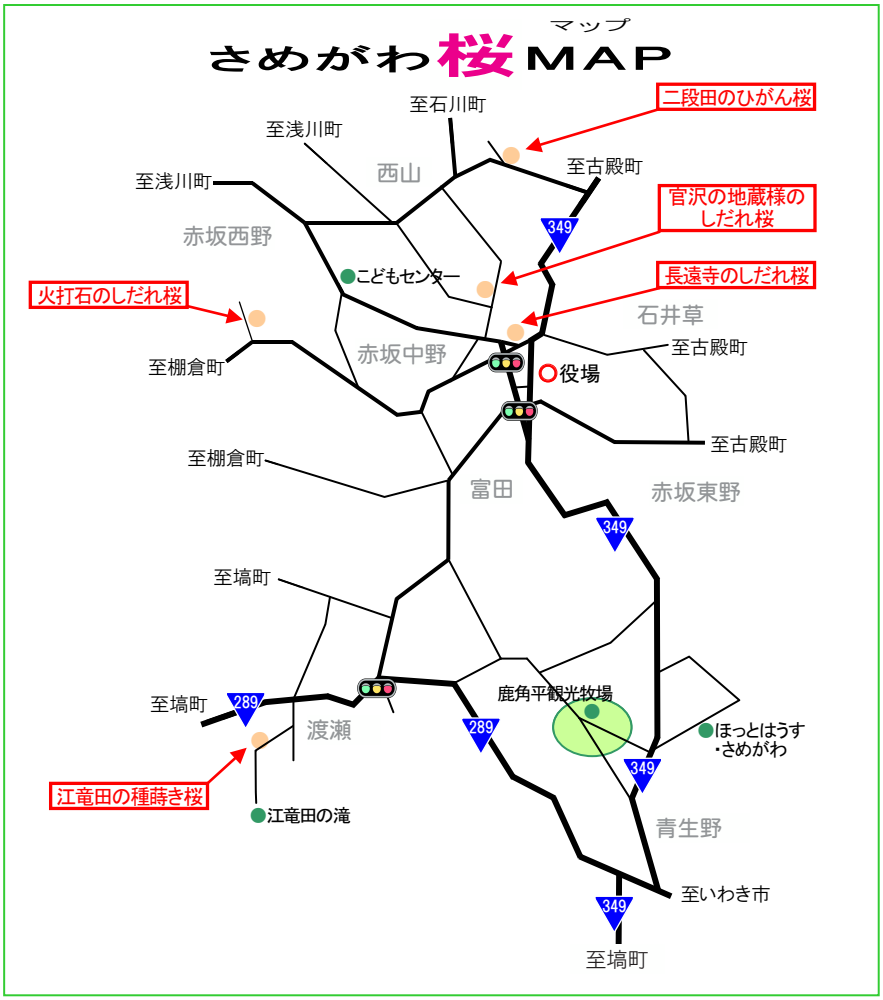
江竜田の種蒔き桜（渡瀬字江竜田）



長遠寺のしだれ桜（赤坂中野字道少田）

さめがわの桜を見に行こう

春の訪れを告げるさまざまな花たち。
なかでも、桜は毎年見事な花を咲かせ、
私たちの心を癒してくれます。
ここでは、村内で咲き誇る桜の名所
（福島県緑の文化財に指定された桜）
をご紹介します。
桜の名所を一度訪れてみませんか。



広報 さめがわ　No.684［平成23年4月1日発行］
■発行・編集／福島県鮫川村役場企画調整課　〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地５　■TEL 0247-49-3115
■FAX 0247-49-3363　■ホームページ http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/　■Eメール kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp